

## <参考資料>

### 1 中部公設試験研究機関研究者表彰

(公財) 中部科学技術センターでは、中部地域(愛知、岐阜、三重、静岡、長野、富山、石川、福井)の公設試験研究機関に所属する研究者を対象として、創造的研究活動の意欲高揚を図り、地域産業の発展に寄与することを目的として、顕著な研究功績のあった研究功績者と、永年にわたり地域の技術指導者として功績の大きかった指導功労者を対象に、毎年表彰を行っている。

平成 29 年度 : 9 名受賞、 平成 28 年度 : 8 名受賞、 平成 27 年度 : 8 名受賞  
平成 26 年度 : 6 名受賞、 平成 25 年度 : 7 名受賞、 平成 24 年度 : 8 名受賞

<参考 : (公財) 中部科学技術センター 中部公設試験研究機関研究者表彰  
[http://www.cstc.or.jp/business/cstc\\_kousetsu\\_hyosho.php](http://www.cstc.or.jp/business/cstc_kousetsu_hyosho.php)>

### 2 平成 29 年度 中部公設試験研究機関研究者表彰式について

日時 : 平成 29 年 9 月 29 日 (金) 14 : 00 ~ 15 : 50  
場所 : 愛知県産業労働センター (ウインクあいち) 1302 会議室  
内容 : 表彰式、受賞講演 (研究功績者代表で、県工業技術センター川邊が講演)

### 3 県工業技術センターの 2 名の受賞者

#### 産業技術総合研究所 中部センター所長賞 [研究功績者]

福井県工業技術センター

新産業創出研究部 総括研究員 川邊和正 (かわべ かずまさ)  
(業績の名称)「強化繊維束の開繊加工技術の開発と実用化」

#### 研究功績概要 :

平成 8 年 (1996 年)、炭素繊維などの強化繊維を活用する技術として、空気流を利用した独自の開繊技術を開発・特許出願したのを皮切りに、世界最薄クラスの厚さ 0.05mm 以下の炭素繊維複合材料の薄層中間基材とその製造技術の開発、およびその薄層中間基材を用いた各種多方向強化積層板の力学的評価を行い、世界的にも高い評価を得た。

さらに、平成 12 年 (2000 年) ごろからは、高耐熱性の熱可塑性薄層シートの製造技術の開発に取り組み、世界で初めて航空機エンジンの構造案内翼に炭素繊維複合材料が適用される礎を築いた。



#### 中部科学技術センター会長賞 [指導功績者]

福井県工業技術センター

機械・金属部 主任研究員 真柄宏之 (まから ひろゆき)  
(業績の名称)「評価・材料分析技術による地域産業界の技術力向上支援」

#### 指導功績概要 :

本県の眼鏡業界で課題となっている安価な外国製眼鏡枠との差別化を目的に、実用的な眼鏡枠耐久試験方法を開発・評価を行い、県内製造眼鏡枠の優位性を明らかにした。

また、眼鏡業界に対し、ISO 規格「眼鏡枠からのニッケル溶出試験」や眼鏡枠材料の分析に関する技術指導などを行い、業界の技術力向上に貢献した。また、医療機器など他業種向け製品の性能評価にも取り組み、眼鏡業界の他業種への進出を支援した。

